

特別賞

環境と生き物を守る

御成門小学校 内田 ダニッシュ

最近、熊が人里に現れて、人をおそう事件が多いです。これは熊が冬みんする前にたくさん食べ物を食べなければならぬのに、今年の夏の異常気象で熊が食べるどんぐりなどが減ってしまったからです。更に森林ばっさいなどで、木が減っているのも原因です。今年の夏の異常気象の原因は人間が使う自動車やバイクなどから出る二酸化炭素などです。

さらに人間がしている森林ばっさいも今年の夏の異常気象と関係があります。木は日が出ている間、二酸化炭素を吸収して、酸素を排出してくれるのです。その木を大量に切ってしまったので、二酸化炭素が増えてしまったのです。では、ぼく達にできる事はなんでしょう。まず、地球温暖化の原因になる二酸化炭素を出さない事だと思います。でもぜったい出さないのは、無理なので少しでも減らすくふうをしたいと思います。そしてその少しでも二酸化炭素を減らすくふうの一つ目は燃やすゴミを減らす努力をする事です。しっかり資源と分別して、燃やす時に出る二酸化炭素を少しでも減らしたいです。そうすれば、地球温暖化が少しでもおそくなり、南極や北極の氷が少しでもとけず

にすんで、砂漠を広げずにすみませう。それを多くの人やれば、大きなえいきょうになります。なのでぼくはこれからも二酸化炭素を減らすのをがんばります。

二酸化炭素を減らすくふうの二つ目は自動車などには乗らないで歩く事です。自分も息を歩いて、二酸化炭素を出しているけど自動車よりは少なくていいです。歩くところから、二酸化炭素を減らすためのくふうです。

二酸化炭素を減らすくふうの三つ目は大人になったらソーラーカーを買う事です。ソーラーカーは省エネでも太陽エネルギーで動くからいいと思います。二酸化炭素を減らすくふうの四つ目はリユースをする事です。

たとえばペットボトルなどを花びんに使ったりすれば、ペットボトルをリサイクルするより二酸化炭素を出さなくてすみます。そういうふうには二酸化炭素を出さなくていけば、だんだん地球もきれいになるとぼくは思います。